

《当JAにおける自己改革への取り組み状況について》

1. 農業者の所得増大

(平成31年3月末現在)

重点項目	取組項目	目標値 (平成29年度～平成31年度)	平成30年度の目標と結果		
			目標	結果	備考
生産コスト削減	良質かつ低コスト資材の取り扱い	特別価格品目供給金額	継続	△	①肥料 2億円 ②りんご袋 1億円
		①肥料 3億円 ②りんご袋 1億円			
農産物販売力の強化	りんご海外輸出向け出荷の拡大	海外向け輸出出荷量 年間 3,117 t	3,010 t	△	2,500 t
	園芸作物販売金額の増大	園芸作物販売額 年間 10億円	9.1億円	○	9.5億円
	「JAつがる弘前米」の戦略的な販売	集荷数量(飼料用米を除く) 年間 10万俵	継続	△	91,599俵
利益の還元	剰余金に応じた積極的な利益の還元	配当の継続実施 年間目標金額 7千万円以上	継続	○	出資配当 2,266万円 事業分量配当7,500万円 (本総代会に提案)

2. 地域の活性化

くらしの活動の拡大	地域貢献活動の強化	地域貢献活動 年間 4回	継続	△	次期活動内容の検討
	食農教育の強化	食農教育活動 提携学校全学年で実施	継続	△	管内7校中 全学年実施 3校
	健康管理活動の推進	受診者数の年間増加数 人間ドック 100人 血液検査 25人	継続	△	受診者増加数 人間ドック 0人 (受診者数 912人) 血液検査 0人 (受診者数 267人)
	地産地消の拡大	直売所イベント活動 年間 6回	継続	○	6回実施 (一部店舗で8回)

3. 組織・経営力の発揮

組織の強化	①組合員加入の促進 ②高齢・労力不足による離農の抑制	組合員新規加入目標 年間 100人	継続	○	平成30年度の 新規加入202名
	地区・支店運営体制の見直し	委員会開催 年間 4回	継続	△	平成31年3月第1回 支店運営委員会開催
経営の強化	業務機構の見直し	業務機構の充実化 平成30年4月実施	継続	○	購買・販売部門の強化 に向けた体制の継続
	役員選出要件の見直し	新たな役員選出要件 令和元年6月実施	検討	○	資格要件等諮問委員会の 設置、委員会の答申 内容を決定
財務の強化	施設整備積立金の新設	施設整備積立金新設 平成29年6月実施	継続	○	平成30年6月 2億円積立
	自己資本の充実化	固定比率 110%以上を維持	継続	○	平成31年3月末 119.2%

○…達成

△…未達成